

北東アジア地域自治体連合環境分科委員会  
活動報告書（2022年）



日本国富山県  
(2023年2月)

## 目 次

I	2022年個別プロジェクトの実施状況	1
i	提案された個別プロジェクト	1
ii	個別プロジェクトへの参加状況	1
iii	各個別プロジェクトの実施状況	2
II	2023年個別プロジェクトの提案状況・参加意向	15
i	提案された個別プロジェクト	15
ii	各個別プロジェクトの提案内容	15
iii	個別プロジェクトへの参加意向	30
IV	次期コーディネート自治体就任希望調査の結果	31
V	環境分科委員会の活動計画（2023年）	31

# I 2022年個別プロジェクトの実施状況

## i 提案された個別プロジェクト

No.	プロジェクト名	提案自治体
No. 1	北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	忠清南道、富山県
No. 2	漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業	富山県
No. 3	北東アジア地域環境ポスター展	ハバロフスク地方
No. 4	海岸生物調査	富山県
No. 5	貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム	忠清南道
No. 6	フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」	トムスク州
No. 7	北東アジア地域生物季節調査	富山県

## ii 個別プロジェクトへの参加状況 (◎：提案自治体、○：参加自治体)

プロジェクト自治体※1		環境活動リーダー	漂着物※2	ポスター展	海岸生物調査	ブルーカーボン	フォトコンテスト	生物季節調査
中国	山西省	○	—	—	—	—	○	—
	遼寧省	—	—	—	—	—	—	—
日本	山形県	—	○S	—	—	—	—	—
	富山県	○	◎	○	◎	○	○	◎
	石川県	—	○S	—	○	—	—	—
	福井県	—	○S	—	○	—	—	—
	京都府	—	○S	—	—	—	—	—
	兵庫県	—	○S	—	—	—	—	—
	鳥取県	—	○S	—	○	—	—	—
	島根県	—	○S	—	—	—	—	—
	山口県	—	○S	—	—	—	—	—
	佐賀県	—	○S	—	—	—	—	—
	長崎県	—	○S	—	—	—	—	—
韓国	江原道	—	○S	—	—	—	—	—
	忠清南道	◎	○S	○	—	◎	—	○
	慶尚南道	—	○S	—	—	—	—	—
モンゴル	ダルハン・オール県	○	—	—	—	—	—	—
	ドンドゴビ県	○	—	○	—	—	—	—
ロシア	アルタイ地方	○	—	—	—	—	—	—
	沿海地方	○	○	○	○	○	○	○
	ハバロフスク地方	○	○	◎	○	○	—	○
	アムール州	—	—	○	—	—	○	—
	イルクーツク州	—	—	—	—	—	○	—
	サハリン州	—	—	—	—	—	○	—
	トムスク州	○	—	○	—	—	◎	—
	ケメロヴォ州	—	—	—	—	—	○	—
参加意向自治体数		5か国 9自治体	3か国 16自治体	4か国 7自治体	2か国 6自治体	3か国 4自治体	3か国 8自治体	3か国 4自治体

※1 下線の自治体：北東アジア地域自治体連合（NEAR）の非会員自治体

※2 ○S：「漂着物調査活動」と「漂着物アート制作」のうち前者のみ実施

### iii 各個別プロジェクトの実施状況

#### 【No.1 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業】提案自治体：忠清南道、富山県

##### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の青少年（中学生、高校生）を対象に、SDGs・環境問題に関する講演や意見交換、環境保全活動等を通じて相互の友好と理解を促進し、持続可能な社会づくりに向けてグローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成する。

##### 2 事業内容

###### (1) 実施時期

2022年8月8日、9日

###### (2) 実施方法

オンライン形式 (Zoom)

###### (3) 実施内容

- ・ スライドを用いた、文化交流、環境保全活動発表の実施
- ・ 環境保全に関するクイズ大会の実施
- ・ 意見交換、異文化交流などの自由交流を実施
- ・ 自治体ごとに「新しく生まれ変わるごみ、ごみの再生」をテーマとしたリサイクル・アップサイクル作品の制作 など

###### (4) 参加自治体

5か国9自治体（計57名の中高大生が参加）

中国：山西省

日本：富山県

韓国：忠清南道

モンゴル：ダルハン・オール県、ドンドゴビ県

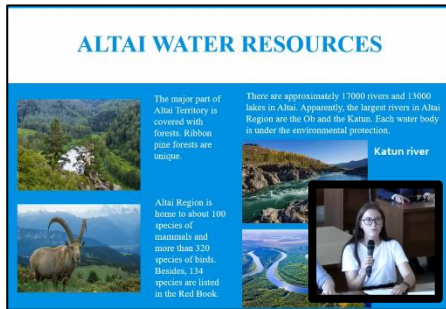
ロシア：アルタイ地方、沿海地方、ハバロフスク地方、トムスク州

###### (5) 実施経過

5～6月 参加者募集

8月 事業実施

(6) 開催風景



文化・風土の紹介



活動発表



自由交流



リサイクル・アップサイクル作品制作



環境宣言

## 【No.2 漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業】提案自治体：富山県

### 1 趣旨、目的

環日本海地域の沿岸自治体が、海岸漂着物の調査活動に加え発生抑制対策に関する学習会を実施することで、上流域から沿岸地域までの漂着物・ごみ問題についての理解を深め、子供たちや地域住民の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育み、日常生活から始めることのできる発生抑制のための行動を促進する。

### 2 事業内容

子供や市民の参加を得て、漂着物調査活動及び発生抑制対策に関する学習会を行った。また、可能な自治体においては、漂着物や家庭から出る廃材を利用したアート作品の制作を行った。

#### (1) 漂着物調査活動

##### ア 実施時期

2022年6月～11月（原則として秋季に実施）

##### イ 実施場所

参加自治体の海・河川（内陸河川を除く。）の沿岸地域

##### ウ 実施方法

- ・ 調査は参加自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て実施
- ・ 調査活動と合わせて海洋ごみの発生抑制に関する学習会を実施
- ・ 調査結果は富山県（公益財団法人環日本海環境協力センター（NPEC））が取りまとめ
- ・ 2021年から調査項目にマイクロプラスチック（直径5mm以下のプラスチックごみ）を正式に追加（「海岸におけるマイクロプラスチック調査ガイドライン（市民参加型）」（2021年3月）に準じて実施）

##### エ 参加自治体

3か国16自治体

日本：山形県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、佐賀県、長崎県

韓国：江原道、忠清南道、慶尚南道

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方

##### オ 実施経過

5～6月 プロジェクト参加案内、マニュアル・調査票の送付等

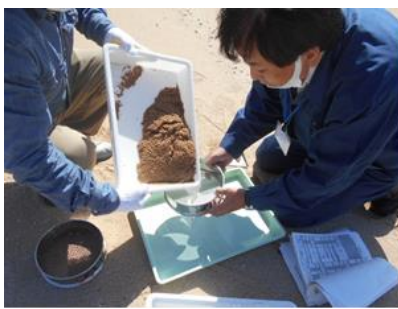
5月～ 準備、事業実施

##### カ 活動風景



漂着物調査活動（富山県）





漂着物調査活動（長崎県）

## （２）漂着物アート制作

ア 実施時期

通年

イ 実施場所

参加自治体内の会場等

ウ 実施方法

富山県が提供する手引書等も参考にして、参加自治体が地元の実状に応じて、学生、住民等の参加を得て実施

エ 参加自治体

日本：富山県

ロシア：ハバロフスク地方

オ 実施経過

５～６月 プロジェクト参加案内、マニュアル・調査票の送付等

５月～ 準備、事業実施

カ 活動風景



漂着物アート制作（作品）  
（ハバロフスク地方）



漂着物アート制作（アート体験、造形遊び）（富山県）

## 【No.3 北東アジア地域環境ポスター展】提案自治体：ハバロフスク地方

### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀な作品を展示することにより、北東アジア地域における市民の環境保全意識を一層高める機会とする。

### 2 事業内容

#### (1) 展示時期

2022年10～11月

#### (2) 展示場所

ハバロフスク地方ハバロフスク市  
(ハバロフスク地方立 青少年図書館)

#### (3) 実施方法

- ・ 各参加自治体が当該自治体内の子供たち（小中高生）から作品を募集し、優秀作品を選定
- ・ 各参加自治体が優秀作品を電子化して、A3サイズでプリントアウトし、台紙に名札（英語表記）とともに貼り付けたもの（＝レプリカ）を開催自治体（ハバロフスク地方）に送付
- ・ 開催自治体がポスター展を開催し、参加自治体の作品（レプリカ）展示

#### (4) 参加自治体

4か国7自治体（ポスター数：53枚）

- ・ 日本：富山県
- ・ 韓国：忠清南道
- ・ モンゴル：ドンドゴビ県
- ・ ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、トムスク州

#### (5) 実施経過

3～7月 【各参加自治体】作品の募集、開催自治体へのレプリカの送付

10～11月 【開催自治体】環境ポスター展の開催

10月～ 【開催自治体+NPEC】開催過程や展示作品のウェブサイトへの掲載



(6) 展示風景



## 【No. 4 海岸生物調査】提案自治体：富山県

### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の海洋生物多様性の保全に向けて、各地域に生息する生物に関する情報の収集、指標生物の生息調査を実施する。本調査を通じて、市民・子どもたちに海の生物への興味を深めてもらい、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2022年7月～9月

#### (2) 実施場所

参加自治体の海岸

#### (3) 実施方法

- ・ NPECが作成した調査マニュアルに基づいて実施し、参加自治体と結果を共有
- ・ 海の生物に関する知識を有する調査機関、NGO/NPOや専門家が主体となり、市民・子どもたちの参加のもと、海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録
- ・ 地球温暖化や外来生物に係る指標生物の存在有無の確認
- ・ 調査結果は、NPECが取りまとめ、ウェブサイトを通じて情報発信

#### (4) 参加自治体

2か国6自治体

日本：富山県、石川県、福井県、鳥取県

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方

#### (5) 実施経過

5月～7月：参加者の募集

7月～9月：調査の実施

#### (6) 活動風景



調査の様子（富山県）

## 【No.5 貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム】

提案自治体：忠清南道

### 1 趣旨、目的

青少年の沿岸環境教育体験を通じて、沿岸生態系ブルーカーボンの重要性を認識するとともに、沿岸の生態系保全の重要性を改めて認識するなど、環境教育を推進する。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2022年6月～12月

#### (2) 実施場所

参加自治体の海岸など

#### (3) 実施方法

- ① カキなどの稚貝を放流（飼養）し、ある程度成貝になってから採取して、その成長を確認（放流時、実施期間中、採取時に計測）し、炭素固定量を調査
- ② 成貝になるまでに水中の炭素が体の中に貯蔵されていく炭素固定過程等を学習

##### 【学習例】

- ・ 貝類の水質浄化機能学習
- ・ 採取した貝の料理・試食体験（炭素循環に関する学習）
- ・ 貝塚や貝塚博物館の見学（貝塚等を教材にしてブルーカーボンの概念を理解）
- ・ ブルーカーボンに関するテキストの作成・配布

#### (4) 参加自治体

3か国4自治体

日本：富山県

韓国：忠清南道

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方

#### (5) 実施経過

6月 参加意向を示しているNEAR会員自治体へのプログラム実施案内  
7～12月 稚貝の放流（飼養）、炭素固定量の調査、児童・生徒を対象にしたブルーカーボンに関する環境教室等の実施

#### (6) 活動状況

##### 《忠清南道》

道内高等学校（ソチョン女子高等学校）と連携して、「学校を尋ねる海洋環境教育」の一環としてブルーカーボン関連事業を実施。環境サークル所属生徒23人に対し、気候変動、海洋分野のカーボンニュートラル、ブルーカーボン、海洋汚染、海洋分野進路探索などをテーマに深く学ぶ海洋環境教育を5回（10時間）にわたって高校生用のプログラムを進めた。

- ① 日時：2022年5月～9月まで5回（計10時間）の教育を実施
- ② 場所：ソチョン女子高等学校 環境サークル 学習教室
- ③ 参加者：ソチョン女子高等学校 環境サークル（1～3年）22名、累計110名

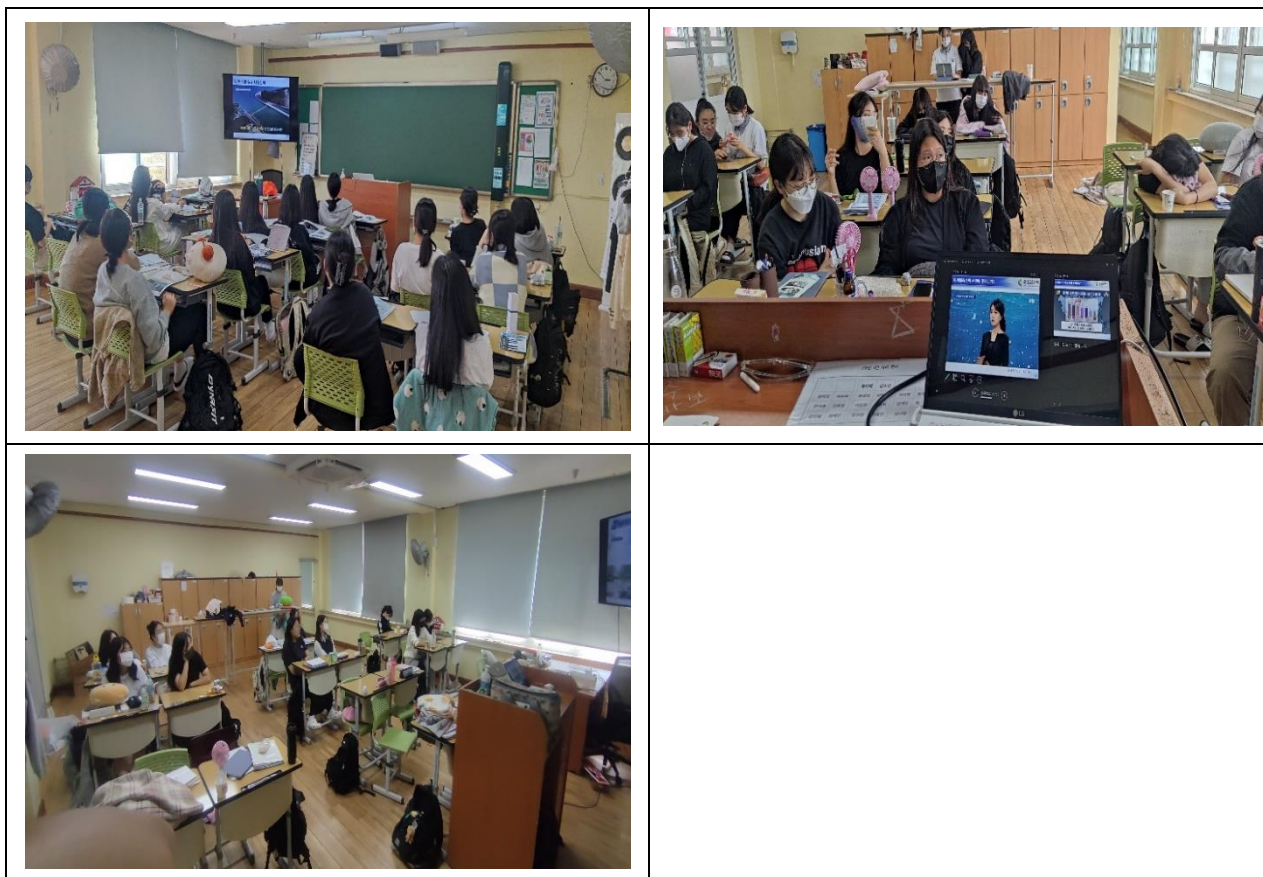


④ 内容：

- 1回目 気候変動とは何だろう？気候変動を防ぐ海の役割、気候変動によって韓国の海洋環境はどのように変わってきたのか？
- 2回目 海洋のカーボンニュートラルとブルーカーボンを調べてみよう。
- 3回目 きれいな海洋環境作り（海洋ごみとマイクロプラスチックの影響を調べる）
- 4回目 海洋水産分野に進路探索、海洋水産・海洋環境分野の主要な職業紹介
- 5回目 ソチョン干潟で調べるブルーカーボンの価値評価  
海洋ごみはどのように処理されるのか？（カーボンニュートラルと連携して再活用の方案）

⑤ 教育方法：各回には理論教育1時間＋討論・探求1時間

⑥ その他：最初は6回の教育中2回の現場体験教育を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や学校の行事の日程と重なり体験学習が出来なくなったため、座学による5回の学習で2022年のプロジェクトは終了とした。



活動の様子（忠清南道）

## 【No.6 フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」】提案自治体：トムスク州

### 1 趣旨、目的

環境保護に関するフォトコンテストの実施を通じて、環境保護活動へ市民の参加を促し、環境保護文化を形成する。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2022年6月22日～12月30日

#### (2) 実施場所

トムスク州

#### (3) 実施方法

- ① 参加自治体において環境保護に関する写真を募集
- ② 参加自治体が応募写真をトムスク州又はNPECに送付
- ③ トムスク州が写真の構成、オリジナリティ、環境保護活動の内容等の観点で写真の審査を行い、優れたものを表彰
- ④ トムスク州が優秀者の賞状・賞品、参加者全員の参加証明書を参加自治体に送付
- ⑤ 参加自治体が賞状・賞品や参加証明書を該当者に送付
- ⑥ トムスク州政府国際・地域関係局のSNSで優秀作品を紹介

#### (4) 参加自治体

3か国8自治体

中国：山西省

日本：富山県

ロシア：沿海地方、アムール州、イルクーツク州、サハリン州、トムスク州、ケメロヴォ州

※ 応募作品数：316点

(内訳)

植林行動・清掃活動等：131点

エコライフ（環境に配慮した生活）：65点

エコ作品：120点

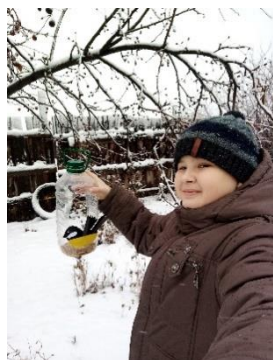
#### (5) 実施経過

6月22日～11月1日 参加自治体での写真の募集、トムスク州での写真の受取り  
11月 トムスク州による写真の審査  
12月 トムスク州から参加自治体への賞状等の送付、SNSでの優秀作品の掲載

(6) 開催風景

トムスク州「Oblkompriroda」のSNS (VKontakte) で応募作品の閲覧が可能。

[https://vk.com/album-126197212\\_281076431](https://vk.com/album-126197212_281076431)



応募作品 (抜粋)

## 【No.7 北東アジア地域生物季節調査】提案自治体：富山県

### 1 趣旨、目的

地球温暖化・気候変動について、北東アジア地域の自治体が連携して市民レベルでの対策を促すため、身近な指標を用いて温暖化の状況をモニタリングすることにより、市民の温暖化対策・エコライフの実践に係る意識啓発を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

年数回程度

#### (2) 実施場所

参加自治体の生活圏

#### (3) 実施方法

- ・ 調査は各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て、富山県が作成する調査実施要領に基づいて実施
- ・ 調査活動と合わせて、地球温暖化・気候変動の影響や対策に関する学習を実施
- ・ 調査結果は富山県（及びNPEC）が取りまとめを実施
- ・ 2022年の実施状況を踏まえ、富山県において2023年以降の継続実施に向けてマニュアルを作成、関係自治体と情報共有

#### (4) 参加自治体

3か国4自治体

- ・ 日本：富山県
- ・ 韓国：忠清南道
- ・ ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方

#### (5) 実施経過

4～5月 参加者の募集

4～12月 調査の実施

～12月 富山県へ実施結果を報告

～3月 マニュアルの作成・情報共有

#### (6) 活動状況

##### 《富山県》

富山県内の親子連れを対象に、地球温暖化に関する学習会及び生物季節調査をモデル的に実施

① 実施時期：2022年6月25日

② 実施場所：富山県 県民公園「頼成の森」 ※らんじょうのもり

③ 参加者：富山県内の親子連れ等 計70名程度

④ 実施方法：

- 【座学】地球温暖化の現状・予測、生物等への影響、対策等及び生物季節調査の意義・実施方法に関する講義を実施。
- 【現地体験】林道を散策しながら、様々な動植物の特性等について解説すると



ともに、アジサイ、カエデ類の生物季節調査の方法について実物を観察しながら解説を実施。

特に、この時期に開花し始めたアジサイの開花タイミングの把握方法及びアプリでの報告方法について実演を交えて説明を実施。

⑤ 活動風景：



学習会・アプリ設定



現地体験

《沿海地方》

「植物研究所」が多くの参加者を対象に植物の季節変化に関する幅広い情報を収集・情報提供するイベントを催し、地球温暖化への関心を高めている。



《ハバロフスク地方》

V.P. スィソエフ記念動物園「プリアムールスキー」の付属教育機関である「青少年自然研究科」の協力を得て、計5回にわたり、各回に「導入（学習会）・アプリ設定」、「観察対象となる植物・昆虫選定」、「植物の見分け方」等のテーマを設定して学習会・調査会を実施。主催したイベントにのべ60名が参加するとともに、参加者は各自でアプリ上に多数の結果を報告している。



学習会・アプリ設定



学習会・調査会の参加者



植物の種の見分け方講習



観察対象となる昆虫選定

### Ⅲ 2023年個別プロジェクトの提案状況・参加意向

#### ⅰ 提案された個別プロジェクト

No.	プロジェクト名	提案自治体
No. 1	北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	遼寧省、富山県
No. 2	漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業	富山県
No. 3	北東アジア地域環境ポスター展	山西省
No. 4	海岸生物調査	富山県
No. 5	貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム	忠清南道
No. 6	フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」	トムスク州
No. 7	北東アジア地域生物季節調査	富山県
No. 8	【新規】河川でのバイオモニタリング	沿海地方

#### ⅱ 各個別プロジェクトの提案内容

【No. 1 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業】提案自治体：遼寧省、富山県

##### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の青少年（中学生、高校生）を対象に、SDGs・環境問題に関する講演や意見交換、環境保全活動等を通じて相互の友好と理解を促進し、持続可能な社会づくりに向けてグローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成する。

##### 2 事業内容

###### (1) 実施時期

2023年8月ごろ

###### (2) 主催

遼寧省、富山県

###### (3) 実施方法

- ・ 1年ごとに日中韓露の自治体が持ち回りで実施
- ・ 実施自治体が事業内容を決定
- ・ 2023年は、新型コロナウイルス感染症の終息が現時点では見通せないため、「オンライン形式」で開催
- ・ SDGs・環境問題に関する講演や意見交換、環境保全活動等の実施を想定

###### (4) 年間計画

2023年5月ごろ 参加者募集

2023年8月ごろ 事業実施

##### 3 期待される成果

- ・ 持続可能な社会づくりの重要性を理解し、グローバルな視点で地域の環境保全活動をリードできる人材の育成が期待される。
- ・ 事業を通じて、ともに環境問題に取り組んでいこうとする連帯感が生まれ、国際的なネットワークの構築が期待される。

##### 4 参加自治体への協力要請事項

###### (1) 協力要請の内容

参加自治体内での参加者の募集、実施自治体との連絡調整、参加者の支援

###### (2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無  
あり

イ 経費負担の概要

参加自治体における一切の費用（会議室使用料、通信設備費、通信費等）は、  
参加自治体が負担する。

**(3) 参加要請自治体**

すべての北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか

## 【No.2 漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業】提案自治体：富山県

### 1 趣旨、目的

海岸漂着物の調査活動に加え、環日本海地域の沿岸自治体での取組みも含めた発生抑制対策に関する学習会を実施することで、上流域から沿岸地域までの漂着物・ごみ問題についての理解を深め、子どもたちや地域住民の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育み、日常生活から始めることのできる発生抑制のための行動を促進する。

### 2 事業内容

子どもや市民の参加を得て、漂着物調査活動及び排出抑制対策に関する学習会を行う。また、可能な自治体においては、漂着物や家庭から出る廃材を利用したアート作品の制作を行う。

#### (1) 漂着物調査活動

ア 実施時期：2023年秋季

イ 実施場所：参加自治体の海・河川（内陸河川を除く。）の沿岸地域

ウ 実施方法：各参加自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て、調査活動と学習会を実施（内陸部の自治体は、清掃活動と学習会を実施）  
実施結果は富山県（（公財）環日本海環境協力センター）が取りまとめを実施

エ 年間計画：5月 参加自治体の募集  
9月～11月 調査の実施  
12月～ 富山県への報告

#### (2) 漂着物アート制作

ア 実施時期：通年

イ 実施場所：各参加自治体内の会場等

ウ 実施方法：富山県が提供する手引書等も参考にして、各自治体が地元の実状に応じて、学生、住民等の参加を得て実施

エ 年間計画：5月 参加自治体の募集  
7月～11月 アート制作の実施  
12月～ 富山県への報告

### 3 期待される成果

「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育むとともに、住民の環境保全に対する意識を高揚する。

### 4 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

##### ① 漂着物調査活動

- ・ 実施場所の選定
- ・ 学習会・調査活動を実施する民間団体等の確保
- ・ 学習会・調査活動を実施する民間団体等の指導、学習会・調査活動の実施
- ・ 実施結果の富山県への報告

##### ② 漂着物アート制作

- ・ 活動の企画、関係者との調整、参加者の募集等
- ・ 漂着物等の素材、活動に使用する道具等の準備

- ・ 住民等の参加による活動の実施、結果のまとめと報告

## (2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無  
あり

イ 経費負担の概要

### ① 漂着物調査活動

- ・ 必要な経費は参加自治体による負担とする。  
ただし、巻尺、ピンセット、はかりなど調査に必要な機材の購入代や、移動に伴うガソリン代、写真現像代などの経費の一部を富山県が予算の範囲内で負担する予定である。

### ② 漂着物アート制作

- ・ 必要な経費は参加自治体による負担とする。

## (3) 参加要請自治体

中 国：遼寧省、河北省、山東省、江蘇省

日 本：北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、石川県、福井県、京都府、  
兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県

韓 国：江原道、忠清南道、慶尚南道

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州

- \* 漂着物調査活動については、北東アジア地域自治体連合会員自治体以外の北東アジア地域の沿岸自治体に広く参加を呼びかける。

### (参考) 富山県における漂着物活動、アート制作の様子



<①海岸での漂着物の調査>



<②海洋ごみに関する学習>



<③漂着物アートの制作>



<④作品の展示>



## 【No.3 北東アジア地域環境ポスター展】提案自治体：山西省

### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀な作品を展示することにより、北東アジア地域における市民の環境保全意識を一層高める機会とする。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2023年10～11月

#### (2) 実施場所

山西省

#### (3) 実施方法

- ・ 各参加自治体が当該自治体内の子どもたち（小中高生）から作品を募集、審査し、優秀作品を選定
- ・ 各参加自治体が優秀作品を電子化し、開催自治体（山西省）に送付  
※ コロナ禍で物流が不安定であるため、オリジナル作品のやり取りは行わない。
- ・ 山西省が参加自治体の各作品をプリントアウトし、ポスター展を開催・展示して普及啓発を実施。

#### (4) 年間計画

3～6月	作品の募集、開催自治体への電子データの送付
10～11月	環境ポスター展の開催
10月	開催過程や展示作品のウェブサイト掲載

### 3 期待される成果

- ・ 市民の環境に関する意識が高まる。
- ・ 北東アジア地域の環境問題に対する理解や共通認識が深まる。

### 4 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

- ・ 参加自治体内で作品募集、審査
- ・ 優秀作品（タイトル、作者のメッセージ等とあわせて）の電子データを開催自治体に送付（2023年の募集作品が時期的に送付できない場合は2022年の作品でもよい）
- ・ 優秀作品の電子ファイルを（公財）環日本海環境協力センター（NPEC）に送付

＜参考：開催自治体で実施すること＞

- ・ 参加自治体への開催通知、優秀作品の送付依頼
- ・ 開催自治体内での作品募集、審査
- ・ 参加自治体から送付された作品（電子）をプリントアウトし、ポスター展を開催、普及啓発の実施
- ・ ウェブサイトに結果を掲載

#### (2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無  
あり

イ 経費負担の概要

- ・ ポスター展や普及啓発イベント等の開催費用は、開催自治体が負担する。

- ・ 参加自治体内における作品募集・審査、開催自治体への送付に係る費用は、参加自治体が負担する。

ウ 参加要請自治体

すべての北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか



## 【No.4 海岸生物調査】提案自治体：富山県

### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の海洋生物多様性の保全に向けて、各地域に生息する生物に関する情報の収集、指標生物の生息調査を実施する。本調査を通じて、一般市民・子どもたちの海の生物への興味を深めてもらい、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

年1回程度

#### (2) 実施場所

参加自治体の海岸（多くの生物が生息する岩場や磯場が望ましい。）

#### (3) 実施方法

- ・（公財）環日本海環境協力センターが作成した調査マニュアルに基づいて実施し、参加自治体と共有
- ・ 海の生物に関する知識を有する調査機関、NGO/NPOや専門家が主体となり、一般市民の参加のもと、海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録
- ・ 地球温暖化や外来生物に係る指標生物の存在有無の確認
- ・ 調査結果は、（公財）環日本海環境協力センターが取りまとめ、ウェブサイトを通じて情報発信

#### (4) 年間計画

6～7月	参加者の募集
7～8月	調査の実施
11月頃	富山県へ実施結果を報告

### 3 期待される成果

- ・ 海岸に生息する海洋生物の北東アジア地域での分布状況の把握
- ・ 指標生物の生息範囲の把握
- ・ 海洋生物多様性、海洋環境の保全に対する意識の高揚

### 4 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

- ・ 本調査を実施する調査機関、NGO/NPOもしくは専門家の選定
- ・ 調査機関との調査実施、結果報告に関する連絡調整

#### (2) 経費負担の要請

経費負担なし（経費の掛からない範囲で実施）

#### (3) 参加要請自治体

内陸部の自治体を除く北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか

## 【No.5 貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム】

提案自治体：忠清南道

### 1 趣旨、目的

青少年の沿岸環境教育体験を通じて、沿岸生態系ブルーカーボンの重要性を認識するとともに、沿岸の生態系保全の重要性を改めて認識するなど、環境教育を推進する。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2023年6月以降

#### (2) 実施場所

参加自治体の海岸など

#### (3) 実施方法

① カキなどの稚貝を放流（飼養）し、ある程度成貝になってから採取して、その成長を確認（放流時、実施期間中、採取時に計測）し、炭素固定量を調査

② 成貝になるまでに水中の炭素が体の中に貯蔵されていく炭素固定過程等を学習

<学習例>

- ・ 貝類の水質浄化機能学習
- ・ 採取した貝の料理・試食体験  
(炭素循環<飼養(生産) → 採取(漁獲) → 飲食(消費)>に関する学習)
- ・ 貝塚や貝塚博物館の見学  
(貝塚等を教材にして、ブルーカーボンの概念を理解)
- ・ ブルーカーボンに関するテキストの作成・配布

③ 結果報告

#### (4) 年間計画

各自自治体の状況に応じて、稚貝の放流・飼養、炭素固定調査、環境教室等を実施するものとする。

取りまとめは2024年1月以降に行う。

### 3 期待される成果

- ・ 気候変動及び海洋環境保全に対する理解の増進
- ・ ブルーカーボンの認識向上、環境教育へのブルーカーボンの積極的活用
- ・ 貝類の成分、含有量などのデータを分析し、次期の二酸化炭素の低減政策策定（忠清南道）の基礎資料として活用（活用できれば、他の自治体の参考事例になりうる。）

### 4 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

- ・ 参加自治体内でのプログラムの企画、関係者との調整、参加者の募集等
- ・ プログラムの実施



<稚貝を放流(左)した後、成貝を採取(右)>



<カキによる水質浄化機能実験>



<採取した貝類を美味しく料理し、試食>



<先史時代の貝塚(ブルーカーボン貯蔵)見学>

- ・ 実施結果の報告
- (2) 経費負担
  - ア 経費負担の有無  
あり
  - イ 経費負担の内容  
現場調査費用及び体験キット購入費用など
- (3) 参加要請自治体
  - 一部のNEAR会員自治体（海に面している自治体）

## 【No.6 フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」】提案自治体：トムスク州

### 1 趣旨、目的

環境保護に関するフォトコンテストの実施を通じて、環境保護活動へ市民の参加を促し、環境保護文化を形成する。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2023年4月～12月

#### (2) 実施場所

トムスク州

#### (3) 実施方法

- ① 参加自治体において環境保護に関する写真を募集
  - 環境保護に関する写真
    - ・ 植林行動や清掃活動等を実施している写真 (before & after)、エコライフを実践している写真 など
  - 写真の仕様
    - ・ JPG、JPEG形式の自撮り写真の電子版 (自撮り写真に限る。)
    - ・ フレーム追加などの加工、デジタル画像修正、コンピュータを使って作成したコラージュなどの写真は対象外
  - 募集の区分
    - ・ 未就学児 (保護者等と一緒に撮影など)
    - ・ 児童・生徒 (小学生、中学生、高校生)
    - ・ 学生 (大学生、短大生、専門学校生)
    - ・ 一般
- ② 参加自治体が応募写真をトムスク州又はNPECに送付
- ③ トムスク州が写真の構成、オリジナリティ、環境保護活動の内容等の観点で写真の審査を行い、優れたものを表彰
- ④ トムスク州が優秀者の賞状・賞品、参加者全員の参加証明書の電子ファイルを参加自治体に送付
- ⑤ 参加自治体が賞状・賞品や参加証明書を該当者に送付
- ⑥ トムスク州がSNSで優秀作品を紹介

#### (4) 年間計画

4月～10月	参加自治体での写真の募集、トムスク州での写真の受取り
11月	トムスク州による写真の審査
12月	トムスク州から各参加自治体への賞状等の送付、HPでの優秀作品の掲載

### 3 期待される成果

市民の環境保護活動への積極的な参加

### 4 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

参加自治体内での作品募集、トムスク州への作品の送付 (電子メール)、被表彰者への賞品等の送付など

#### (2) 経費負担

ア 経費負担の有無  
あり

イ 経費負担の内容

- ・ 参加自治体内での作品募集に要する経費
- ・ 参加自治体から被表彰者への賞品等の送料

(3) 参加要請自治体

すべてのNEAR会員自治体ほか

## 【No.7 北東アジア地域生物季節調査】提案自治体：富山県

### 1 趣旨、目的

桜の開花やトンボの初見など、気候変動の影響を身近に感じることができる「生物季節」に注目し、調査や学習会を通じて脱炭素社会への意識醸成を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

年数回程度

#### (2) 実施場所

参加自治体の生活圏

#### (3) 実施方法

- ・ 各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て、富山県が作成したマニュアルに基づいて調査を実施
- ・ 調査活動と合わせて、地球温暖化・気候変動の影響や対策に関する学習を実施
- ・ 調査結果は富山県（及びNPEC）が取りまとめを実施
- ・ 2023年6月、各自治体職員を対象に「ファシリテーター養成セミナー」（以下、「セミナー」）を開催予定。生物季節調査の意義や正しい調査方法等について解説し、各自治体で事業を広めるための人材育成を行う。
- ・ 2024年2月、北東アジア地域の市民を対象に、「北東アジア地域生物季節調査推進シンポジウム」（以下、「シンポジウム」）を開催予定。世界の地球温暖化の状況・予測、生物等への影響を学ぶとともに、生物季節調査・報告方法の説明を行う。

#### (4) 年間計画

- |       |                        |
|-------|------------------------|
| 4月    | 【富山県】セミナー内容等詳細検討       |
| 5月    | 【各自治体】セミナー参加募集案内       |
| 6月    | 【富山県】セミナー開催（各自治体が参加）   |
| 4～5月  | 【各自治体】調査参加団体・参加者の募集    |
| 4～12月 | 【各自治体】調査の実施            |
| 12月頃  | 【各自治体】富山県へ実施結果を報告      |
| 1月    | 【富山県】シンポジウム開催案内        |
| 2月    | 【富山県】シンポジウム開催（各自治体が参加） |

### 3 期待される成果

- ・ 市民の気候変動対策、生物多様性に対する意識の高揚
- ・ 環境保全につながる市民レベルのエコライフ実践の促進

### 4 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

- ・ 調査実施場所の選定
- ・ 調査に合わせて気候変動の影響や対策に関する学習会を実施する民間団体等の確保
- ・ 調査・学習会を実施する民間団体等の指導、調査・学習会の実施
- ・ 実施結果（調査・学習会の開催概要、課題等）の富山県への報告

**(2) 経費負担の要請**

- ・必要な経費は、参加自治体による負担とする。

**(3) 参加要請自治体**

すべての北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか



## 【No. 8 河川でのバイオモニタリング】提案自治体：沿海地方

### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の河川における水質を評価するとともに環境教育の推進を図るため、小中高生及びボランティアの参加・協力を得て、北東アジア地域で共通の淡水質バイオモニタリング及び評価の方法を開発する。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2023年9月（毎年実施予定）

#### (2) 実施場所

北東アジア地域各自治体の淡水域

#### (3) 実施方法

- ・ 淡水質の迅速なモニタリングは、指標となる生物を観察することにより実施される。そのため、汚染に対する耐性が異なる主な生物指標に関する情報を含む特別マニュアルを提案自治体（沿海地方）が作成し、配布する予定。
- ・ 配布されたマニュアルに基づき、各自治体において淡水質のバイオモニタリングを実施。

※ 指標となる淡水生物の分布はロシアの極東地方の南方から北東アジア地域の国々まで広がるものとするを想定している。ただし、共通の指標生物が少ない場合は、各地域に適する生物種を選定することも考えられる。マニュアルはロシア、日本、韓国、モンゴル、中国、ベトナムにも同様に適用されるものとして作成することを目指す。

#### (4) 年間計画

1～3月	【沿海地方】淡水質バイオモニタリングのマニュアル開発
4～5月	【NEAR事務局】マニュアルの各言語訳
5～6月	マニュアルを各自治体に送信
7～8月	【各自治体】淡水質バイオモニタリングの準備
9月	【各自治体】淡水質バイオモニタリングの実施
9～10月	【各自治体】モニタリング結果の提供
11～12月	【沿海地方】結果の評価、最終報告書の作成
12月頃	【沿海地方】モニタリング結果に関するセミナー開催、成果をウェブサイトに掲載

### 3 期待される成果

- ・ 選定した地点の河川の水質状況の評価および汚染拡大防止
- ・ 生物学知識の習得、自然や環境への関心向上
- ・ 北東アジア地域における共通の淡水質バイオ評価の開発と実施

### 4 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

- ① 本調査を実施する調査機関、NGO/NPO、専門家の選定
- ② 調査機関との調査実施、結果報告に関する連絡調整、調査・学習会を実施する民

間団体等の指導、調査・学習会の実施

③ 実施結果（モニタリング開催概要、結果、課題等）の沿海地方への報告

**(2) 経費負担の要請**

- ・ 参加自治体内における調査実施、結果報告等に要する費用は、参加自治体が負担する。

**(3) 参加要請自治体**

すべての北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか

iii 個別プロジェクトへの参加意向 (◎：提案自治体 ○：参加意向自治体)

プロジェクト 自治体※ <sup>1</sup>		環境活動 リーダー	漂着物※ <sup>2</sup>	ポスター展	海岸生物 調査	ブルー カーボン	フォト コンテスト	生物季節 調査	河川バイオ モニタリング
中国	山西省	○	—	◎	—	—	○	—	—
	遼寧省	◎	—	—	—	—	—	—	—
日本	山形県	○	○S	—	—	—	—	—	—
	富山県	○	◎	○	◎	○	○	◎	○
	石川県	—	○S	—	—	—	—	—	—
	福井県	—	○S	—	—	—	—	—	—
	京都府	—	○S	—	—	—	—	—	—
	兵庫県	—	○S	—	—	—	—	—	—
	鳥取県	—	○S	—	○	—	—	—	—
	島根県	—	○S	—	—	—	—	—	—
	山口県	—	○S	—	—	—	—	—	—
	佐賀県	—	○S	—	—	—	—	—	—
	長崎県	—	○S	—	—	—	—	—	—
韓国	江原道	○	○S	—	—	—	—	—	—
	忠清南道	○	○	○	○	◎	—	○	—
	慶尚南道	—	○S	—	○	—	—	—	—
モンゴル	ドンドゴビ県	○	—	○	—	—	○	—	—
	オルホン県	○	—	○	—	—	○	—	—
ロシア	アルタイ地方	○	—	○	—	—	○	—	—
	沿海地方	○	○	○	○	—	○	○	◎
	ハバロフスク地方	○	○	○	○	○	—	○	○
	トムスク州	○	—	○	—	—	◎	—	○
	アムール州	—	—	○	—	—	○	—	—
	イルクーツク州	—	—	—	—	—	○	—	—
	サハリン州	—	—	—	—	—	○	—	—
参加意向国・自治体数 (国数/自治体数)		5か国 12自治体	3か国 16自治体	5か国 10自治体	3か国 6自治体	3か国 3自治体	4か国 10自治体	3か国 4自治体	2か国 4自治体

※1 下線の自治体：北東アジア地域自治体連合の非会員自治体

※2 ○S：漂着物調査活動と漂着物アート制作のうち前者のみ実施

### Ⅲ 次期コーディネート自治体就任希望調査の結果

2021年7月から富山県がNEAR環境分科委員会のコーディネート自治体を務めてきたが、その任期が2023年7月に満了する。このため、次期コーディネート自治体就任希望調査を実施したところ、次期コーディネート自治体への就任を希望した自治体は、富山県のみであった。

### Ⅳ 環境分科委員会の活動計画（2023年）

年月	内容
適宜実施	○提案自治体と参加意向自治体が個別プロジェクトの実施に向けて協議 ○合意があった場合、個別プロジェクトを実施
8月～	○コーディネート自治体が、2023年個別プロジェクトの実施状況及び2024年個別プロジェクトの提案について調査を実施し、結果を取りまとめ
秋	○第16回環境分科委員会の開催 (議題)・次期コーディネート自治体の選出 ・2023年個別プロジェクトの実施状況 ・2024年個別プロジェクトの提案状況 ・各自治体の環境施策に関する情報交換 等
冬	○コーディネート自治体が2024年個別プロジェクトへの参加意向調査を実施し、結果を取りまとめ